

3 / 6 日、7 日、13 日、14 日、19 日、20 日、21 日、27 日、28 日

こんにちは。3月ですね。
あたたかい日が続く、こころもほっこりと
あたたまってくるようです♪この季節ならではの、春の星空をのんびりとたのしみましょう。

コンパルホール

星空通信

2021 年 3 月 号



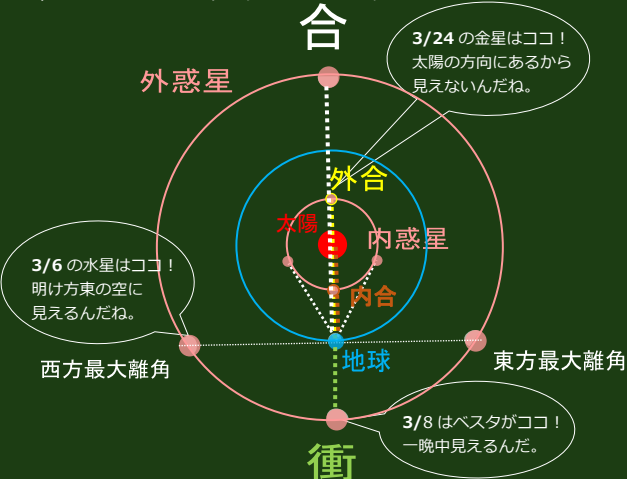
星空観測のための用語♪

天体イベントなどを調べていると、ふだんききなれない言葉があります。今回はこの星空通信でも頻発する用語の意味を、あらためて確認してみましょう。

惑星の見え方は、太陽と惑星と地球の位置関係によって異なります。地球から見て太陽と同じ方向に惑星があるとき「合」といい、合にある惑星は見えません。また、地球から見て太陽と反対側に惑星があるとき「衝」といい、衝にある惑星は一晩中見えます。

※下記図では、真ん中が太陽、水色の軌道が地球。地球からみた惑星の位置関係をチェックしてみて。

- ◆合（外惑星）、内合・外合（内惑星）…太陽の方向にあり、観測不可。
- ◆衝（※合と逆）…太陽と反対の方向にあり真夜中に南中。観測好機。
- ◆西方最大離角…明け方の東空に見える。
- ◆東方最大離角…夕方の西空に見える。
- ◆西距…日出時に南中。明け方の東空に見える。
- ◆東距…日入時に南中。夕方の西空に見える。



【星空のみどころ】

これから昼の時間がどんどん長くなっていく時期ですが、夕方、西の高い空に輝く火星をみつけてみましょう☆また、3月15日頃から見える細い月も要チェックです♪この2つは19日から20日にかけて、接近しますよ!

その光景と併せて、おうし座の1等星・アルデバランも鑑賞し、春を感じてみましょう。



屋上・天体観測ドーム

東経131度36分50秒、北緯33度13分55秒に位置するコンパルホール。屋上(7階)には、直径5メートルの電動回転式ドームがあります。最大倍率約275倍のニュートン式300ミリメートル反射式望遠鏡を1台、さらに、100ミリメートル屈折式望遠鏡4台を備えています。観望時には指導員が星空の解説をおこない、望遠鏡の操作説明もします。大分の街中に、ふらりと星を見にいらっやいませんか?



今月の惑星情報



← 左コーナーの図で確認してみよう♪

火星…3/4、プレアデス星団に接近。
3/19、月と並ぶ。

水星…3/5、木星と大接近。
3/6、**西方最大離角**

金星…3/24、**外合**

土星…月と並ぶ。

※3/8 小惑星ベスタが**衝**

★曇天時のお問い合わせ★

097-538-3700 (コンパルホール)

